

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月2日 (2012.2.2)

【公表番号】特表2004-510700(P2004-510700A)

【公表日】平成16年4月8日 (2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-014

【出願番号】特願2002-508438(P2002-508438)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7042 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

C 0 7 H 9/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7042

A 6 1 P 3/10

C 0 7 H 9/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年12月6日 (2011.12.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

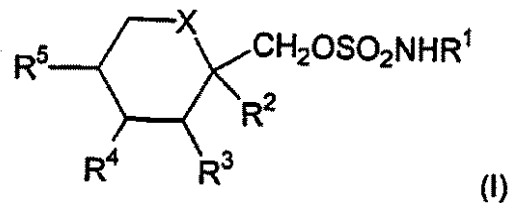
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 治療有効量の式 (I) の化合物

【化 1】

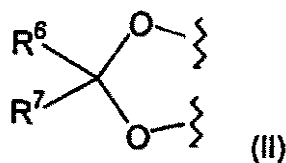


(式中、XはCH₂ または酸素であり、

R¹ は水素またはアルキルであり、

R² , R³ , R⁴ および R⁵ は独立に水素または低級アルキルであり、XがCH₂ のときは、R⁴ と R⁵ はアルケン基であり結合してベンゼン環を形成していてもよく、Xが酸素のときは、R² と R³ および／または R⁴ と R⁵ はともに下記式 (II)

【化 2】



(式中、R⁶ と R⁷ は、同一または異なって、水素、低級アルキルであるか、またはアルキルであって、結合してシクロペンチルまたはシクロヘキシル環を形成する) のメチレンジオキシ基でもよい) を用いて、罹患した哺乳動物において I I 型糖尿病の発症を治療または予防する方法。

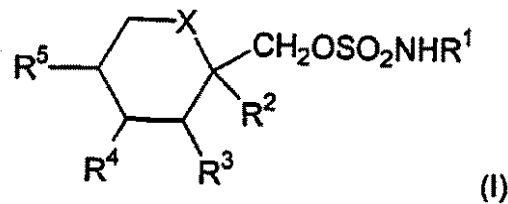
【請求項 2】 前記式 (I) の化合物がトピラメートである請求項 1 の方法。

【請求項 3】 前記治療有効量が約 10 mg 乃至 650 mg である請求項 1 の方法。

【請求項 4】 前記量が約 16 mg 乃至 325 mg を 1 日 1 回または 2 回使用する量である請求項 1 の方法。

【請求項 5】 治療有効量の式 (I) の化合物

【化 3】

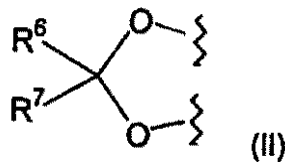


(式中、XはCH₂ または酸素であり、

R¹ は水素またはアルキルであり、

R² , R³ , R⁴ および R⁵ は独立に水素または低級アルキルであり、XがCH₂ のときは、R⁴ と R⁵ はアルケン基であり結合してベンゼン環を形成していてもよく、R² と R³ および／または R⁴ と R⁵ は一緒に下記式 (II))

【化 4】



(式中、R⁶ と R⁷ は、同一または異なって、水素、低級アルキルであるか、またはアルキルであって、結合してシクロペンチルまたはシクロヘキシル環を形成する) のメチレンジオキシ基でもよい) を用いて、罹患した哺乳動物においてX症候群 (インスリン耐性症候群、代謝症候群または代謝的X症候群) の発症を治療または予防する方法。

【請求項 6】 前記式 (I) の化合物がトピラメートである請求項 5 の方法。

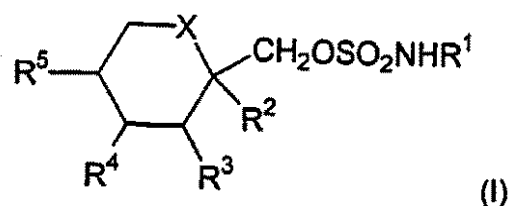
【請求項 7】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 1,000 mg である請求項 5 の方法。

【請求項 8】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 650 mg である請求項 5 の方法。

【請求項 9】 前記量が約 16 mg 乃至 325 mg を 1 日 1 回または 2 回使用する量である請求項 5 の方法。

【請求項 10】 治療有効量の式 (I) の化合物

【化 5】

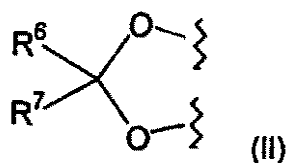


(式中、XはCH₂ または酸素であり、

R¹ は水素またはアルキルであり、

R² , R³ , R⁴ および R⁵ は独立に水素または低級アルキルであり、XがCH₂ のときは、R⁴ と R⁵ はアルケン基であり結合してベンゼン環を形成していてもよく、Xが酸素のときは、R² と R³ および／または R⁴ と R⁵ はともに下記式 (II))

【化 6】



(式中、 R^6 と R^7 は、同一または異なって、水素、低級アルキルであるか、またはアルキルであって、結合してシクロペンチルまたはシクロヘキシル環を形成する) のメチレンジオキシ基でもよい) を用いて、罹患した哺乳動物において経口グルコース寛容減損を治療または予防する方法。

【請求項 11】 前記式 (I) の化合物がトピラメートである請求項 10 の方法。

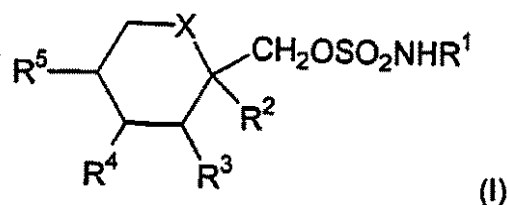
【請求項 12】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 1,000 mg である請求項 10 の方法。

【請求項 13】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 650 mg である請求項 10 の方法。

【請求項 14】 前記量が約 16 mg 乃至 325 mg を 1 日 1 回または 2 回使用する量である請求項 10 の方法。

【請求項 15】 治療有効量の式 (I) の化合物

【化 7】

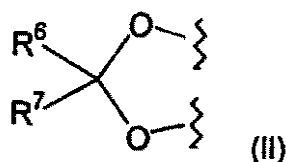


(式中、X は CH_2 または酸素であり、

R^1 は水素またはアルキルであり、

R^2 , R^3 , R^4 および R^5 は独立に水素または低級アルキルであり、X が CH_2 のときは、 R^4 と R^5 はアルケン基であり結合してベンゼン環を形成していてもよく、X が酸素のときは、 R^2 と R^3 および / または R^4 と R^5 はともに下記式 (II))

【化 8】



(式中、 R^6 と R^7 は、同一または異なって、水素、低級アルキルであるか、またはアルキルであって、結合してシクロペンチルまたはシクロヘキシル環を形成する) のメチレンジオキシ基でもよい) を用いて、罹患した哺乳動物において II 型糖尿病または X 症候群に関連した皮膚の病変を治療または予防する方法。

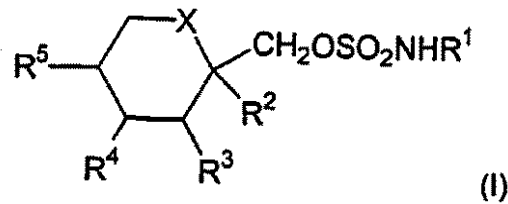
【請求項 16】 前記式 (I) の化合物がトピラメートである請求項 15 の方法。

【請求項 17】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 1,000 mg である請求項 15 の方法。

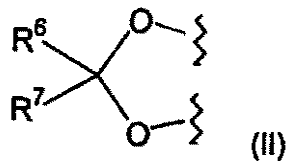
【請求項 18】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 650 mg である請求項 15 の方法。

【請求項 19】 前記量が約 16 mg 乃至 325 mg を 1 日 1 回または 2 回使用する量である請求項 15 の方法。

【請求項 20】 治療有効量の式 (I) の化合物
【化 9】



(式中、XはCH₂ または酸素であり、
R¹ は水素またはアルキルであり、
R² , R³ , R⁴ およびR⁵ は独立に水素または低級アルキルであり、XがCH₂ のときは、R⁴ とR⁵はアルケン基であり結合してベンゼン環を形成していてもよく、Xが酸素のときは、R² とR³ および／またはR⁴ とR⁵はともに下記式 (II))
【化 10】



(式中、R⁶ とR⁷ は、同一または異なって、水素、低級アルキルであるか、またはアルキルであって、結合してシクロペンチルまたはシクロヘキシル環を形成する) のメチレンジオキシ基でもよい) を用いて、罹患した哺乳動物において欠陥のあるインスリン感受性を向上する方法。

【請求項 21】 前記式 (I) の化合物がトピラメートである請求項 20 の方法。

【請求項 22】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 1,000 mg である請求項 20 の方法。

【請求項 23】 前記治療有効量が 1 日 約 10 mg 乃至 650 mg である請求項 20 の方法。

【請求項 24】 前記量が約 16 mg 乃至 325 mg を 1 日 1 回または 2 回使用する量である請求項 20 の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0056

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0056】

雌 db/db マウス (7 匹乃至 8 匹/グループ) の種々のグループを 11 日間 dH₂O 中 0.5% メチルセルロース (ベヒクル)、トピラメート 30 または 100 mg/kg/日または 2, 3:4, 5-ビス-O-(1-メチルエチリデン)-β-L-フラクトピラノース・スルファメート (以下、化合物 V と称する) 30 または 100 mg/kg/日を用いて経口強制飼養した。10 日目、これらの動物を 20 時間絶食させてから経口グルコース寛容 (OGT) を検査した。11 日目に、各グループに最後の投与から 4 時間後に 2 g/kg の経口グルコースを投与することにより経口グルコース寛容検査 (OGTT) を行った。グルコース負荷 0 (グルコース負荷前)、30, 60 および 120 分後に動物の尾部を切断することにより放血した。これらの血液サンプルをヘパリン化した CB ミクロベット (microvettes) 内に捕集し、次いで氷上に置いた。これらの血漿サンプルを、血漿グルコースを決定するために SIGMA DIAGNOSTICS Trinder 試薬 (シグマ社 (Sigma)、米国ミズーリ州セントルイス市) を用いて検定する。統計処理をプログラム Instat (米国カ

リフォルニア州モンロビア市、グラフパッド（Graphpad）社）を用いて行い、片側 A N O V A を Dunnett の多重比較検定で実行した。